

《台風 19 号 (2019.10.14) ・被災地からの情報》

2019.11.2 「被災地における障がい者、移動制約者への移動送迎支援活動基金」 運営委員会
(略称：ももくり送迎基金)

—台風 19 号による河川の氾濫や大雨による被害が、全国各地の広範囲で起きています。被災に遭われている方々に、心よりお見舞い申し上げます。—

【柿久保浩次さん「千曲川氾濫：南北に 2 キロ余 東西に 2 キロくらいが浸水していると感じました」
(2019.10.22～23)】

台風 19 号による豪雨、長野県の千曲川の氾濫は決壊した場所を中心に南北東西 2 キロ余りにわたって発生していた。犀川と千曲川が合流して当時の水量のすさまじさを想えば、決壊範囲がさらに広がり、被害が大きくなる可能性もあったのではないかと思います。

長野市穂保地区の堤防が、およそ 70 メートルにわたって決壊しました。水の深さは 4～5 メートル。広い範囲で床下浸水、決壊した場所以外にも、付近の堤防の住宅地側で、水でえぐり取られた跡や、草が流されている跡が沢山ありました。「越水」による氾濫が、そこここであったと思います。

対岸の堤防も越水、これだけ広い範囲で越水が発生した現場は、今まで見たことがなかった水量のすさまじさを示していて、さらに決壊範囲が広がり、被害が大きくなる可能性もあったようです。1983 年にも、堤防を越水して浸水被害があったと話していました。

10 月 23 日朝から、車で現地を走り回りました、千曲川の東堤防から下流側に、須坂市、小布施町、中野市、西堤防にわたり、長野市側を赤沼、長沼、そして堤防決壊した穂保までを現地視察。

堤防の決壊現場では、災害現場のかたづけのボランティア活動のチームに話をし、その後、浸水被害の長沼小学校に行きました。まだ手つかずで、自衛隊の車数台が校庭に止まっており、学校再開の目途は見えてないようでした。

赤く色づいたリンゴが、りんご園の地面に沢山落ちていて、リンゴの木も傷んでいました。泥のかたづけが進んでなくて、道路のほこりは凄く、車も埃がたまるほどです。災害地域を出ればまるで別世界で、長野市内中心部とのギャップをいやというほど感じました。

午後から、長野市市民協働サポートセンターに伺いして、お話をしてきました。全国移動ネットに「浸水被害で使えなくなった長沼小学校の子どもたちを、隣の小学校に送迎支援活動ができないでしょうか」と相談の連絡があった新井さんに、被害状況や、ボランティアセンター活動、避難所等の状況を聞かせてもらいました。

長野市内の避難所開設は 13 ヲ所 756 人 (10 月 24 日現在)。決壊した長沼周辺が多いようです。「車が浸水して、避難所から学校に来れない子どもたちが 20 人ほどいるのでは」とのことです。小学校教育委員会は、避難所の対応のことで一杯いっぱい、そこまで手が回らないという状況でした。今は、先生方が手分けして走っているそうです。送迎の支援をしていくにしても、現地に動ける人がいなく、コーディネートできないので、一旦、保留しますとの意向のようです。長沼小学校の再開には 1 ヲ月にかかると思いますが、今のところ目途が見えないようです。



【写真】

- ①千曲川が、この辺りで川幅が狭くなり、堤防を越水して、りんご園に大きな被害が。
- ②長沼小学校西側の田んぼの向こうが、水に沈んだ新幹線基地。

③堤防決壊の長沼町穂保。数軒が流されて、周りの家は二階までが壊れていました。

④長沼小学校の校舎とグラウンド。自衛隊の待機場所となっていた。

長野市市民協働サポートセンターの阿部さんが言うには、「23日の状況では、やっといろいろな取り組み計画が進み出したと感じます。状況変化が出て、送迎支援活動が必要になればお願いしますと思います。よろしくお願いします」と依頼されています。その時は、送迎支援の情報発信をしますので、協力をお願いします。

【大山 英雄さん「長野市での支援活動」（2019.10.26）】

ボランティア仲間の報告です。先ほど電話で状況をお聞きしました。

関西圏からは、週末の参加ができそうですね！

「※田中 慶彦さん（2019.10.26）：長沼地区赤沼エリアでの活動。場所にもよるが、家具出しと運び出し依頼が多く、床下ドロカきに至っている箇所は少ない。最近になって初めて手が入る場所も数件あるとのこと。長野市ボラセンでは、この週末、集積所への運び出しが強化される。



【大山 英雄さん「宮城県丸森町の現状」（2019.10.25）】

相当の被害が出ているようです。

「※萬代 好伸さん「丸森町台風 19 号災害支援」（2019.10.24）：

OPEN JAPAN 緊急支援プロジェクト重機隊・丸森方面隊は、現調につぐ現調。新たに出て来る地区ニーズは、ようやく道路が開通した地域。心が折れそうな光景が広がる、果てしない場所！ まだまだこうした地域が、埋もれる丸森の町。明日もまた、現調は続く。



【ゆめ風基金：台風 19 号被害-続報 5（2019.10.25）】

10 月 24 日、いわき市の「いわき自立生活センター」さんからメールをもらいました。
ここから転載します。

昨日（10 月 23 日）、いわき市内の障がい福祉施設等が加盟している「いわき市障がい者福祉連絡協議会」の事務局から、「いわき福音協会では、一定程度の物資の確保ができました」という連絡が入りました。

いわき市内の現状も合わせてお伝えします。

発災直後から続いていた、いわき市北部の広域的な断水ですが 22 日から被害の大きい平窪地区、小川地区から通水を始めて、解消に向かっていきます。水道局では 27 日を目途に、すべての地区への給水という発表をしていますが、それよりも早まる可能性が出てきています（水道局の発表している地区以外でも、水が出ていると情報があります）。

また、水が使えるようになったことで、家の中の清掃、泥出し、道路の清掃も可能になると思います。やはり、22 日から平窪地区、小川地区で無料の買い物支援バスの運行と、市の協定に基づくカーシェアリングの車の運用も、この地区限定でスタートしています。断水が解消されれば、入浴のできる生活介護事業所 1 ヲ所での入浴ができるようになったりするものと思われます。

水や生活物資ですが、東日本大震災のときに比べて、たとえ品薄になったとしても入荷されないということがなく、ペットボトルの水も今週の月曜日くらいからスーパー、量販店に以前のように山積みになれるようになりました。その他の物資も順調に入荷されているようです。

このような状況になっています。今回は、本当にありがとうございました。

また、以前、ゆめ風が支援した福島県いわき市南部の「なこそ授産所」さんから、「うちは無事」と連絡をもらいました。（こちらの代表は「育成会」の役員もされていて、地元同士のつながりが強いと感じました）ただ、近隣の作業所やグループホーム 1 階が浸水したところもあったようで、布団などを集めて持っていったそうです。

いわきの福祉関係者に、ゆめ風基金のリーフレットなどが回っているようで、「パソコンが水没した」など日常業務に支障が出ているケースも多いようです。調査を進めながら「つながって」いき、支援を進めていけたらと考えています。

【福島県移動サービスネットワーク・大山重敏さん（2019.10.23）】

福島県移動サービスネットワークの大山です。県内の状況について、私の知っている範囲でお伝えします。

■福島交通（中通り地方の路線バスを広域的に運行）のバスが、約 90 台水没しているとのこと。

県南圏域の一部町村で路線バスを行政運営のバスに切り替えているところがありますが、そこも運行しているとの情報があります。

いわき市内と浜通りの路線バスを運行している新常磐交通、会津地方全域で運行している会津バスは、路線バスの運行は続けています。

■いわき市内の断水ですが、昨日の午前中から通水を開始していて、一番被害のあった平窪地区、小川地区の一部では昨日の夕方くらいから水道が利用できるようになっています。

断水地域のすべての解消は、27 日めどになっていますが、思ったよりも早く給水が進んでいるように見受けられます（水道局の発表と実際に水が出ている地区と差が出てきているので）。

また、市内の医療機関では断水のみで診療できないところも、医師会等の支援で水を確保して、何とか診療を開始したところもあります。

冠水により自動車が動かないなどの被害もありますが、田舎なので市内の別な場所にいる家族や知人の車を一時的に借りたり、昨日からは買い物支援バスとして平窪地区と小川地区で新常磐交通が路線バスを走らせています。

市では、東日本大震災後にカーシェアリングの会社と協定を結んでいて、平窪地区と小川地区で無料カーシェアリングも昨日から開始になっています。

■市内の平窪地区の障がい者福祉施設を運営している社会福祉法人では、利用者の水や食器、泥出し作業のための手袋・マスクなどが不足していましたが、全国の障がい福祉団体に物資の補給の呼びかけを先週金曜日から実施して、現在は不足分も少なくなっています。

市では、障害者施設、高齢者施設にペットボトルの飲料水の優先配布を、やはり金曜日から開始していて、必要な個数をもっていったということになったために郡山市内では、被害の大きい地区もありましたが、水が利用できる状況で、避難所から日中は自宅の片付けに行っている被災者の皆さんが多いという情報を得ています。

郡山の災害ボランティアの NPO などが、避難所での夕食の炊き出しなども実施されています。

■須賀川市と、隣接する鏡石町の堤防の決壊箇所は、比較的人口の少ない農村部でした。田畑の被害は大きいですが、浸水被害の影響少ないように聞いています。

いわきから中通り方面に通じている国道 49 号線と 288 号線が、がけ崩れや道路の崩壊などでまだ通行できない状況です。また県道も、所々で寸断している状況なので、磐越道を利用することしかできない状況です。

今回は東日本大震災とのときに比べて、発災当初にペットボトルの水が不足する事態になりましたが、先週末くらいからスーパーや量販店に水が山積みになる状況ですし、生活物資も含めて当初は品薄でも入ってこないということがないので、よかったと思っています。

■いわき市内では、発災当初の初動態勢の遅れから、避難所での食料品の配給に偏り（たくさんもらえるところとそうではないところ、同じものが三食配られるなど）がありましたが、現時点では避難所はすべて閉鎖となり、小中学校も月曜日から授業を始めています。

平窪地区は、その奥の山間部へのどうしても避けて通れない最短距離の国道が走っていて、そこが冠水したことで、水が引けてから渋滞がひどかったですが、それもだんだんと解消してきています。

泥のかきだしなど人手が必要な作業ができる世帯と、できない世帯が出てくると思われるので、ボランティアの皆さんの手が必要になるかもしれません。

以上、報告です。

【全国移動ネット・伊藤さん（2019.10.22）】

先週、長野県高齢者生協の新井さんのご紹介で、下記の方からお電話がありました。

柿久保さんが、明日長野に状況把握をしてくださる予定ですが、地元で拠点となる人や団体がいないと支援を行うことは難しいと話しています。

「※長野市市民協働サポートセンター (<http://www.nagano-shimin.net>) ・阿部今日子さん
・穂保地区にある長沼小学校が、台風 19 号の被害で浸水して再開のめどが立っていない。
・相談者は、この長沼小学校の校長先生。
・長沼小学校の生徒は、当面柳原地区にある小学校に通うことになり、16 日から？その小学校の体育館で午前のみ授業を行なっている。
・午前の学校が終わった後、日中に子どもを預かる NPO 法人があるため、そこに 40～50 人が集まって夕方まで過ごす。（「北部レクリエーションパーク？」で）。
・送り迎えは、家に車があれば保護者が送迎しているが、車が流されて通えない子、午前に学校が終わっても保護者がお迎えに行けない子は、教員が分担して送迎している。
・送迎のご相談をしたいのは、自宅から柳原地区の小学校まで（人数不明）、そこから午後の預かり場所である北部レクリエーションパークまで（ここは 40 人くらいピストンでもいい）、そこから自宅まで（人数不明）。
・校長先生は、教育委員会からは対応できないと言われ、どこに相談していいかもわからないと、阿部さんに相談してこられた。」

これに対し、柿久保さんと私から「柿久保副理事長は、来週 23 日にレンタカーで現地入りする予定。ボランティアを募るとしても、みんなマイカーなど大きな車両ではなく、個人宅からの送迎ができるほどボランティアは集まらないかも。現地に拠点となる人や、団体があつたほうがいい」といったことをお伝えしたところ、受け入れ側も混乱していて、つなぎをつけられないということで、宙ぶらりんになっています。

【ゆめ風基金：台風 19 号被害について（2019.10.21）】

ゆめ風基金では、台風 19 号の被害について、様々方面へ依頼し被害状況を調査しています。現在わかっているだけで 22 カ所の法人、24 カ所の拠点が被災していると聞いています。

まだ「自分のところに精一杯で他の様子までわからない（長野）」との声もあり、被害の全体像まではつかめていません。すでにパソコンや車両がほしいと支援要請が来ています。

前回の台風 15 号や、九州豪雨でも被災した障害者拠点等から、すでに 3 カ所の支援申請も来ており、今年も昨年に続き甚大な被害が出てしまいました。

被災した障害拠点：

岩手県

吉田川の決壊による被害 2 件

- ①わ・は・わ大郷…床上浸水 吉田川の決壊による被害。
- ②めるくまーる粕川みらい（放課後等ディサービス）…床上 2mほどの浸水。

福島県

いわき市夏井川の決壊

- ③特定非営利活動法人ままはーと
重心児ディサービスどりーむず…床上 70 センチほどの浸水。
- ④いわき自立生活センター
事業所は無事だが、職員 3 人ほどが床上浸水で、出勤できず。
- ⑤生活介護事業所ポポロ
床上 1.4m 浸水により、器具、備品全滅。
建物（サッシ戸 2 枚、室内ドア全壊、壁数ヵ所破損、送迎車両 3 台水没）。
営業は当面休止。
- ⑥就労支援センターかぜ
事業所は 1 階が浸水被害を受けました。
また、車（公用車）1 台が水に浸かりエンジンがかからない状態で、使用不可能。
利用者 1 名が、自宅が床上浸水被害で欠席。
- ⑦のはら荘
利用者様 3 名のご自宅・グループホームが床上浸水。
職員 1 名の自宅が、床上浸水。職員 3 名が車両浸水。
建設中のグループホームが床上浸水 15cm。
- ⑧工房けやき…床上浸水。
- ⑨いわき福音協会…グループホーム 14 棟が浸水被害。

郡山市 阿武隈川と安達太良川の氾濫

- ⑩（社福）希望の社福社会
スペースけやき…事業者無事だが、職員、利用者は床上浸水多数。
工房けやき…床上浸水。
- ⑪（社福）にんじん舎の会
デイセンターにんじん倶楽部…床上 2m の浸水。
- ⑫NPO 法人ほほえみの間（就労継続 B 型）
1 階が浸水 車 2 台が水没。
- ⑬地域活動支援センターげんき（地域活動支援センター）
床上浸水 2m、車両 3 台が水没。
- ⑭社会福祉法人ほっと福祉記念会
笑（えみ）…2 階建て新築 1 階部分が 2m 浸水。
陽（よう）…1 階部分が完全水没。
れいる…平屋建ての建物が完全水没。
- ⑮社会福祉法人 安積愛育園
バローネ（放課後ディサービス）…床上浸水。
- ⑯合同会社ケーエム・ジェイ
ケアセンター楽笑（移動支援）…床上浸水、車両 2 台水没、パソコン等使用不可。
- ⑰株式会社かるみあ
かるみあ郡山（就労継続支援 A 型）…床上 50cm 浸水。
福豆荘（下宿）…2 階建て。1 階部分床上浸水 2m。家財道具水没。
現在、障害のある方 14 名入居。避難状況：14 名中、2 名 2 階自室で生活、5 名避難所、3 名入院、4 名家族宅等。

相馬市…宇多川の氾濫

⑱NPO 法人みんなのしあわせプロジェクト

工房もくもく…床上 50 c mほどの浸水。

現在も調査中のところ

那須川市

⑲社会福祉法人福音会

⑳かるみあ那須川

埼玉県

川越市

㉑社会福祉法人けやきの里…床上 1mほどの浸水、パソコン・家財道具等が全滅。

長野の状況について

現在長野市では、㉒社会福祉事業団が運営する作業所が、1 階完全に水没したと聞いていますが、その他の障害者拠点は床上 10 c mほどの被害であり、大きな被害は他に報告されていません。今の所、該当地域にその他の障害者拠点は無いと聞いていますが、個人の被災までは状況はわかりません。

【ゆめかぜ基金：第 3 報（2019.10.21）】

●埼玉県川越市「けやきの郷」

先ほど支援要請がありました。浸水により備品等ことごとく使えなくなったとのこと。現地で調達できるのであれば、パソコンや周辺機器を購入後、請求書をゆめ風に送ってもらい、支援を検討します。

●岩手県 吉田川の決壊による被害 2 件

①わ・は・は大郷：床上浸水

②めるくまー粕川みらい：床上 2mの浸水

●福島県 いわき市 夏井川の決壊

③NPO 法人ままはーと：床上浸水

④いわき自立生活センター：事業所は無事だが職員 3 人が床上浸水で出勤できず。

※いわきは特に浄水場が浸水したため断水が続き、復旧のめどが立たない模様。早急に水を支援します。

郡山市 阿武隈川と安達太良川の氾濫

⑤（社福）希望の社

スペースけやき：事業所は無事だが職員・利用者とも床上浸水多数。

工房けやき：床上浸水。

⑥（社福）にんじん舎の会 デイセンターにんじん倶楽部：床上 2mほど浸水。

⑦NPO 法人ほほえみの間（就労継続 B 型）：1 階が浸水、電話が通じず連絡がとれない。

⑧地域活動支援センターげんき：水路の近くで内水氾濫による被害。1 階が浸水。電話が通じず連絡がとれない。

南相馬市

⑨NPO 法人みんなのしあわせプロジェクト 工房もくもく：床上 50 センチほどの浸水。

その他、被災が確認されて、詳細は 1 週間ほどでわかるところ

・（社福）ほっと福祉記念会

・（社福）浅積愛育園

・合同会社ケーエム・ジェイ 以上郡山市

須賀川市

・(社福) 福音会：3ヵ所が屋根まで浸水、再開のめどが立たない。

※郡山の情報は東日本大震災で知り合ったかたが情報収集してくれています。

この方が、いわきから要請のあった水2リットル6本入りケース×100、バスタオル100枚を届けてくださいました。後日、ゆめ風がお支払いします。

大変な被害状況がわかってきました。ゆめ風ネットや、つながりのある皆さんの情報が貴重です。

ご存じのかたがいらっしゃったら「info@yumekazek.com」へご一報ください。

さらに被災地域が広く、今後も多くの支援要請がくると予想されます。

どうか皆さまのご支援、よろしくお願いします。

【ゆめかぜ基金：第2報「台風19被害について2」(2019.10.18)】

先日のメールの中で、⑨「南相馬…宇田川の氾濫」は、「相馬市…宇多川の氾濫」に訂正させていただきます。また国立リハビリテーションセンターの北村さんから、埼玉のけやきの郷が被災している情報が入りました。くわしくはこちらをご覧ください。

<https://news.goo.ne.jp/article/saitama/region/saitama-20191016100739.html>

またいわき自立生活センターの大山さんより、いわきの状況について報告が来ています。以下をご覧ください。支援をされる方は必ず現地と連絡を取るようにしてください。

2019年10月18日

いわき地区障がい者福祉連絡協議会 加盟事業所御中

いわき地区障がい者福祉連絡協議会 会長 鈴木繁生

台風19号によって被害を受けた加盟事業所への支援について

日頃より当協議会へのご支援・ご理解を賜り誠にありがとうございます。さて、先般の台風19号によって当協議会加盟事業所にも、別紙の通り被害の報告が届いております。特に生活介護事業所ポポロ、共同生活援助事業所シーズの被害が甚大となっております。そこで障連協としては、臨時の役員会を開催し、被災事業所への支援を行うことを決定致しました。事務局でいわき福音協会に確認した上で、下記の通りの対応を行うこととしましたので皆様に周知させていただきます。皆様のご協力を何卒よろしくお願い致します。

記

生活介護事業所ポポロ・共同生活援助事業所シーズへの支援について

必要としているもの：

水、使い捨て容器（紙皿、紙コップ、丼、スプーン、フォーク）、布団、衣類、雑巾、使い捨て手袋、マスクなど。

支援方法：いわき福音協会法人本部へ直接搬入

備考：ボランティアも必要としているが、ボランティアをまとめる職員も不足している状況。ボランティアを希望する場合は問い合わせが必要。

以上

担当：いわき地区障がい者福祉連絡協議会

2019年10月18日現在

いわき地区障がい者福祉連絡協議会

台風19号に係る被害状況調

生活介護事業所ポポロ：

床上 1.4m 浸水により、器具、備品全滅。

建物（サッシ戸 2 枚、室内ドア全壊、壁数ヵ所破損）、送迎車両 3 台水没。

営業は当面休止。

就労支援センターかぜ：

事業所は 1 階が浸水被害を受けました。

また、車（公用車）1 台が見ずに浸かりエンジンがかからない状態で、使用不可能になりました。

利用者 1 名が、自宅が床上浸水被害で欠席。

断水のため、3 名が避難中のため、欠席をしています。

現在事業所は断水中ですが、営業しています。

障害福祉サービス事業所 はまゆう：

13 日、道路通行止めで職員が出勤できず。

14 日、断水。

野の花ホーム：

台風 19 号による施設の被害状況は断水のみです。

いわき療育園：

育成園入口のメゾン高倉車道側の法面が崩落し、車道側に土砂が流出してしまった。

人的「園舎内の被害はありませんでした。

はまぎく荘：

はまぎく荘 みはま体育館に、雨漏りの被害がありました。

断水です。今日（10 月 15 日）で、水が貯水槽からなくなると思います。

いわき希望の園：

施設敷地内の法面一部が崩落。今後、専門業者に修繕依頼予定。

のはら荘：

利用者様 3 名のご自宅・グループホームが床上浸水。

職員 1 名の自宅が床上浸水。職員 3 名が車両浸水。

建設中のグループホームが、床上浸水 15cm。

断水中。

工房けやき：

床上浸水。

なお、いわき福音協会では、上記の被害の他にグループホーム 14 棟が浸水被害。住居を失った多数の利用者様のご苦労されております。

また、災害対応に追われて回答できなかった事業所もあると思われます。

他に加盟事業所以外でも、「障がい福祉事業所等の被害」がありましたら、事務局までお知らせ下さい。

災害対応に日々尽力されている職員の皆様はじめ、関係者の皆様のご苦労に敬意を表すると共に、どうぞお体に気をつけて対応にあたってくださいことを切に願っております。

【大山 英雄さん「台風 19 号災害支援（その 2）」（2019.10.20）】

10 月 17 日（木）、現場 3 日目は、私と名古屋の M さんとの計 135 オコンビと、住職さんのお仲間や、ご家族 10 名ほどでした。前日に気づいたのですが、玄関横の水道蛇口からは水が出てるのに、建物内のトイレやお風呂などは、水が出なくて不思議でした。その原因が分からなかったのですが、地下倉庫に加圧水タンクがあり、ここからポンプで建物内に送水してるようで、水没したため、ポンプが動かなくなっていました。

そのタンク入り口の蛇口からは、勢いよく水が出てたので、これなら、タンク入り口と出口の配管を直結すれば OK なので、その提案をさせてい



ただき、午前中に水道配管屋さんが来られて解決しました。現役時代に、電気や配管工事の監督をやった経験が生かせました！

建物の水は復旧しましたが、まだ、地下倉庫の照明がやはり水没したので、7～8個の蛍光灯が使用できませんでした。前日にすべての蛍光灯を外して、タオルで拭いて綺麗にしておいたのですが、まさかそれが使用できるとは知りませんでした。Mさんいわく、蛍光灯の配線を少し改造すると、LEDの蛍光灯に生まれ変わるそうで、ホームセンターでLEDを購入しました。

14時過ぎに現場に戻ると、またまた昨日いただいた豪華なお弁当が用意されていました。もうここまで親切にされると困ります。夕方まで私は地下倉庫の天井に配線された既設配線をパールと金槌でコの字形の固定釘を、ひたすら取り外しました。

夕方から再度ホームセンターへ出かけ、19時ころに現場へ戻りました。実は、この日は泊まるホテルがなくて、お寺の本堂を使わせていただくことになっていました。その本堂に行くと、なんと二人分の夕食とお茶が用意されていました。自分たちは、お手伝いをさせていただいてるのに、被災された方からここまでおもてなしをされると、本当に言葉がありませんでした。

その夜は、Mさんがすべての蛍光灯の配線を改造してくださいました。

18日（金）、現場4日目は、いよいよ帰る日になりましたが、とても帰りづらい気持ちでした。

午前中は、Mさんは蛍光灯を取り付けて、新規配線を施工され、私は既設配線を撤去したら、ご住職さんより、本堂床の泥出の準備をして下さいと言われました。

本堂は幸いにも、あと少しで床上浸水は免れていて、信仰心のない私でも、御仏のご加護と思われたのです。

まず、床上を調べてみても、どこにも床下へ入れそうな開口部はありません。外に出て床下を調べようにも、いくつかの換気用の格子戸があるだけで、入り口はありませんでした。仕方ないので、ご了解を得て、鋸で格子戸を切って床下を調べました。床下は、まだドロドロでぬかるんでいましたが、やはり床上への開口部はなくて、結局、畳2枚分の床板を剥がして、ひとまずおきました。照明はMさんの頑張りですべてが点灯して完了しました。

この日も、私とMさんのベテランコンビが、自分の技術を生かして作業出来たので、満足の1日でした。15時過ぎに、帰る準備をして、お仲間やご住職さんにご挨拶をして帰ろうとすると、名刺をいただけますか？と言われ、ご住職さんと2ショットを撮影していただきました。

わずか4日間のお手伝いでしたが、無心でただひたすら片づけや清掃などをしました。そして、帰路の高速道路を大阪に向けて走っていると、来る時と違ってことに気が付きました。それは、心が軽くなっていたのです！無心で片づけ、清掃してる時に、自分の心のゴミも一緒に綺麗にしてくれていたようです。

ご住職さまをはじめ、長野でお会いしたたくさんの方々に心からお礼を申し上げて、この記事を終了します。

【大山 英雄さん「台風19号災害支援（その1）」（2019.10.19）】

10月14日（月）から18日（金）まで、長野市へ行ってきました。14日は移動ただけで、430キロを7時間かけて高速を走り、日が暮れた18時ころ長野市へ到着しました。高速道路の減免は2日後に実施されました。

現場は、佐賀でお世話になった「口ハス南阿蘇たすけあい」のおやっさんからの紹介でお寺でした。

14日は、近くで車中泊してコンビニで新聞を買って情報収集すると、千曲川は決壊は1ヵ所でしたが、堤防からの越水は、10ヵ所以上で発生していたようです。

15日（火）に8時半ころ〇〇寺に行くと、口ハスのたけちゃん、よっちゃんがいて、安心しました。この日は、地下の倉庫からひたすら水没した家具や書類やいろんなものを地上に出して、それを3台の



軽トラで指定場所までピストン輸送しました。おそらく 10 回以上運搬したと思いますが、まだ終わりませんでした。

この日は、住職のお仲間や、地域のサッカーチームからたくさんの方が来て下さいました、総数は 20 名ほど？ そして、ボランティアのために、飲み物や、お昼ご飯も用意して下さいました。もちろん、昼食や飲み物は持参したのですが…。

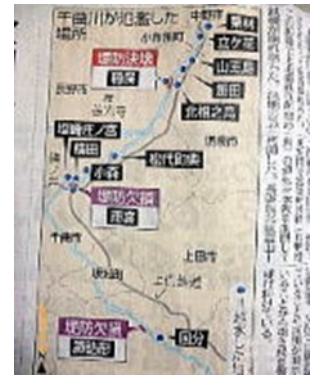
この日はとても寒くて、川中島温泉という銭湯で温まり、昨日とは違う場所で車中泊しました。

16 日（水）もたけちゃん、よっちゃん、住職のお仲間、名古屋の M さん（佐賀で一緒しました）など 10 人ほどで、ひたすら地下から搬出して、お昼頃になんとか終わりました。お昼に持参したおにぎりを食べようとしてたら、お膳を用意されていてご馳走になりました。被災されて、これからが物入りなのに、こんな高価なお昼まで用意されて、とても恐縮しました。

午後からは、運び出したものを高圧洗浄機で洗ったり、地下倉庫に大量に残った泥水をポンプ 3 台を動かして、くみ出す傍ら、高圧洗浄機 2 台で壁や床などを洗浄して、見違えるようになりました。

この日は、名古屋の M さんと相部屋で近くのビジネスホテルに泊まり、ゆっくり晩酌も出来ました！一方、口ハスのたけちゃん、よっちゃんは、作業が終わると千葉へ戻られました。お話を聞くと、佐賀の水害から 1 日も休みがないそうです。このお二人がそうなら、ボスのおやっさんも休まれてないでしょうね！

木曜からは、私と M さんと口ハスさんのお名前を汚さないようにしないと いけません。二人の年齢合計は、135 才です！



【ゆめかぜ基金「台風 19 号被害について」第 1 報（2019.10.17）】

台風 19 号被害は災害救助法適用区域が東日本大震災を超えるものとなり、非常に大きなものとなっています。ゆめ風基金では情報収集に様々なご協力をいただき、以下の障害者拠点などが被災していることが判明しています。今後も河川の決壊、氾濫が多くあることから、より多くの被災状況が寄せられると思います。

まだ長野からの情報が届いていませんが、とりあえず中間報告をさせていただきます。

また臨時号を作成し、募金も呼びかけたいと思いますのご協力をお願いします。

台風 19 号被害について

岩手県

吉田川の決壊による被害 2 件

- ①わ・は・わ大郷…床上浸水、吉田川の決壊による被害。
- ②めるくまー粕川みらい（放課後等ディサービス）…床上 2m ほどの浸水。

福島県

いわき市 夏井川の決壊

- ③特定非営利活動法人 ままはーと
重心児デイサービスどリーむず…床上 70 センチほどの浸水。
- ④いわき自立生活センター
事業所は無事だが、職員 3 人ほどが床上浸水で、出勤できず。

郡山市

阿武隈川と安達太良川の氾濫

- ⑤（社福）希望の社福祉会

スペースけやき…事業者無事だが、職員、利用者は床上浸水多数。

工房けやき…床上浸水。

⑥（社福）にんじん舎の会

デイセンターにんじん倶楽部…床上 2m ほどの浸水。

⑦NPO 法人ほほえみの間（就労継続 B 型）

1 階が浸水。現在電話が通じず連絡が取れない。

⑧地域活動支援センターげんき…水路の近く、内水氾濫による被害、1 階が浸水。

こちらも現在電話が通じず、連絡が取れない。

南相馬

宇田川の氾濫

⑨NPO 法人みんなのしあわせプロジェクト

工房もくもく…床上 50cm ほどの浸水。

以下は被災のみが確認されたところ（詳しい状況はあと 1 週間ほどで入手予定）。

「力を合わせて」

（2019.10.14 日本カーシェアリング協会メールニュース vol.45 よりの転載）

台風 19 号、日本中に大きな爪痕を残しましたね。これだけの数と規模の川が氾濫し、浸水した事態は、私達が活動を始めた東日本大震災以降はじめてです。

じつは、石巻も被害が出ており、私たちも拠点も床上浸水し、車も 7, 8 台浸水しました。昨日は、朝からスタッフやどこかで聞きつけてきてくれた仲間たちが自然に集まってきて、片づけを行い、今日もその続きをこれから行います。市内浸水地域の一つ不動町でも、地域の方々が日頃『コミュニティ・カーシェアリング』を行っている電気自動車が浸かってしまいました。

佐賀県の支援も、45 台の車が集まり対応を進めておりますが、まだ 20 件以上の予約待ちの待機がある状況で、先週、車集めのための会見を佐賀県庁で行ったばかりでした。

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/saga/20191011/5080004287.html>

千葉も軽トラの要請があり、ボラセンなどの千葉の支援活動を行う団体へ無料貸し出しを進めています。

<https://bit.ly/2MCgKfc>

そんな状況で、車も人手も不足している状況にありますが、台風 19 号の支援を協力を募り、今、私たちができることをしっかりやりきりたいと思います。

昨日、吉田川が決壊した宮城県大郷町に行ってきたのですが、現場にいたご家族に話しかけたら、濁流にのまれている集落の方を指さし、

「あのコーヒー色の瓦の家がうちなんです。あそこに 3 台車を停めていて、その車ももうだめなんでしょうね……。」とおっしゃっていて、

「これから車を集めるところなんだけど、準備ができれば 1 台貸し出せるようにしますね」と話をすると、すごく喜んでくださり、連絡先を交換しました。まずは、宮城県内から進めていきます。

さあ、こういう時こそ、できない理由を並べるより、力を合わせて、できる方法を見つけていきましょう。

【緊急募集！台風 19 号支援のための車を募集します！】

台風 19 号から一夜明け、宮城県石巻市内の冠水地域と、吉田川が氾濫した大郷町の現場調査を実施しました。宮城県内以外にも、日本全国で車が水没している様子が報道されています。その状況をうけ、協会では台風 19 号で被災した地域への車の無償貸出支援を実施していきます。

ただ、8 月発災の佐賀豪雨、9 月発災の台風 15 号支援で、多くの車を出してしまい、今回の支援で活

用する車の台数が不足していています。

そこで、全国から新たに車の寄付を募集します。

◆募集する車の条件(現場で活用するもの)

- ・車検が3ヵ月以上残っている自動車(普通・軽自動車問わず)
- ・エンジンやエアコン不調、オイル漏れなど安全な走行に支障がない車
- ・スリップサインが出ていないタイヤを履いている車

※車検切れの車は、提携のリサイクル業者により無料で引き取り解体し、災害支援の資金として活用させていただきます。自宅に眠っている車があれば、一度お問い合わせください。

◆車の寄付・今回の支援に関するお問い合わせ

協会のFBにメッセージをいただくか、teikyou@japan-csa.orgへメール、0225-22-1453へお電話をお願いいたします。

こちらの特設ページからのお申し込みが、一番助かります。

https://peraichi.com/landing_pages/view/disasterrelief

運搬ボランティアさんや、ともに活動していただけるスタッフさんも募集します。

実は、カーシェアの事務所も床上浸水しました。絶賛復旧作業中です。ただ、大変なのはどこも同じ、ということでいち早く車をお届けする体制を作っていきます。情報の拡散や、車の提供に関するお声掛けにご協力ください！

また、車の寄付呼びかけ用のチラシのデータは、自由に印刷して配布いただいで大丈夫です！

できることをやる、の精神でこの災害を乗り越えましょう！

活動資金のご支援も、お願いしております。

寄付は、こちらからお願いいたします。

<https://www.japan-csa.org/benefaction/benefaction.php>

◆有償スタッフ&運搬ボラ募集

●支援を共に行う有償スタッフ募集 ※宿泊場所と車あり。

被災地で車の貸出や名義変更、関係機関との調整を本部スタッフとともに行っていただきます。石巻を拠点とし、各被災現場で活動していきます。

※勤務日数・給与体系については、お申込み後にご説明させていただきます。

●車を被災地に届ける運搬ボランティア募集

車を寄付していただく方の指定場所から、活用現場まで車の運搬をしていただくボランティアを募集します。

- ・車の寄付元から届け先までの運送費(ガソリン代)は協会で負担します。
- ・高速道路は災害従事車輛の無料通行証を、ご利用いただきます。
- ・万が一の事故の際は、協会で加入している自動車保険の範囲内で補償いたします。

<お申し込みはコチラから>

https://peraichi.com/landing_pages/view/disasterrelief

一般社団法人日本カーシェアリング協会・吉澤武彦

〒986-0813 石巻市駅前北通り1丁目5-23

TEL 0225-22-1453 FAX 0225-24-8601

E-mail: info@japan-csa.org

ホームページ: <http://japan-csa.org/>